



# 赤穂市 子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査

小学生対象調査

## ● 調査ご協力をお願い ●

みなさまには、日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

赤穂市では、より一層の子育て支援施策の充実に向けて、子ども・子育て支援法に基づき、2020年度から2024年度までを計画期間とする「第2期赤穂市子ども・子育て支援事業計画」を策定します。

この調査は、みなさまの子育てに関する現状や、また子育て支援サービスの利用希望などを把握するために実施するもので、市内の小学生のお子さんがある世帯の保護者の方々にご協力をお願いするものです。

ご回答いただいた内容は、計画策定や今後の子育て支援を検討するうえで利用させていただくものであり、個人が特定されたり、他の目的に利用したりすることは一切ございません。

ご多用のこととは存じますが、趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成31年1月

赤穂市

### 【ご記入に当たってのお願い】

- 1 アンケートには、**調査用紙を持ち帰ったお子さんについてご記入ください。**
- 2 アンケートにはお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 3 ご回答は、選択肢に○をつけてお選びいただく場合と、数字などをご記入いただく場合がございます。
- 4 選択肢の場合、お選びいただく数が設問によって異なりますので注意書きに従ってください。また「その他」をお選びいただいた場合は、( )内に具体的な内容をご記入ください。
- 5 時間(時刻)をご記入いただく場合は、24時間制(例：午後6時→18時)でご記入ください。
- 6 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きや矢印に従ってご回答ください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。
- 7 本調査の集計結果や自由記述の趣旨については、市のホームページ等を通じて公表する場合があります。

ご記入がすみましたら、お手数ですが、**2月6日(水)**までに小学校へご提出ください。

赤穂市健康福祉部 子育て健康課  
赤穂市教育委員会 こども育成課

電話：0791-43-6808 FAX：0791-45-3396  
電話：0791-43-7065 FAX：0791-43-6895

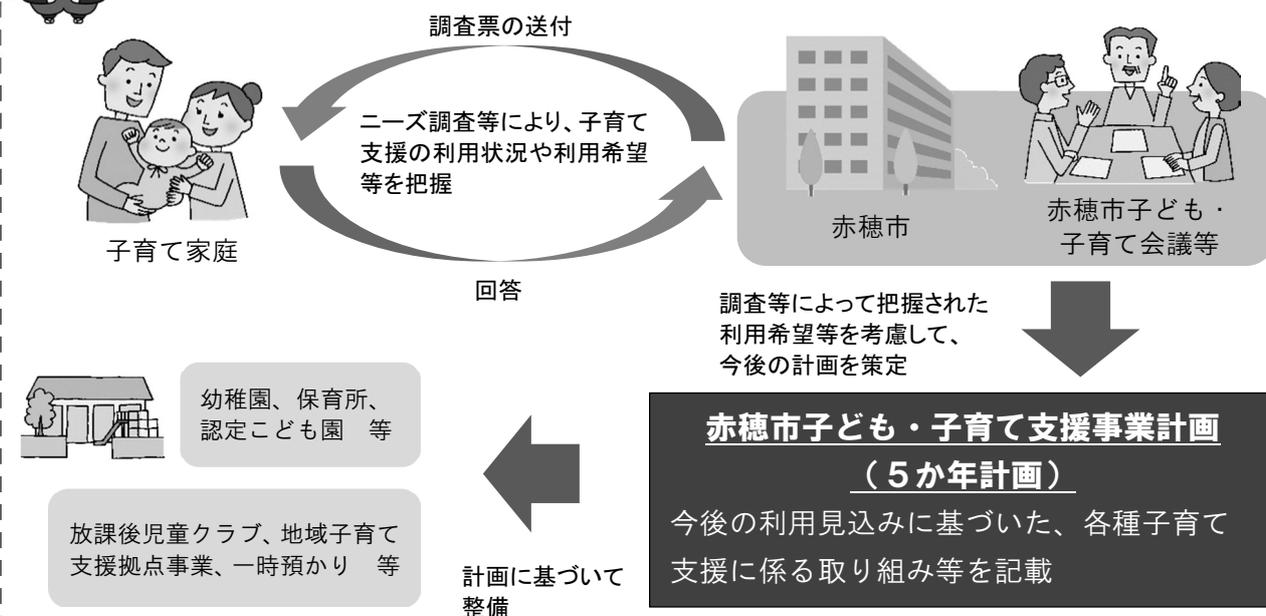
「子ども・子育て支援新制度」ってこんなこと！



- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。



いただいたご意見は、地域の子育て支援の充実に生かされます！



### 《第1期子ども・子育て支援事業計画により実施された赤穂市の主な取り組み》

- ・保健センターを赤穂すこやかセンターに移設し、母子保健事業の充実を図りました。
- ・赤穂すこやかセンター内で乳幼児一時預かり事業を開始しました。
- ・公立幼稚園で、3歳児保育（試行）を実施しました。
- ・新たに赤穂西小学校、高雄小学校、有年小学校にアフタースクールを開設しました。

### 【用語の定義】 ●○この調査票における用語の定義は以下の通りです●○

- ・幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教育：幼稚園や学校だけでなく、家庭での教育を含めた意味で使用

## お子さんとご家族の状況について

問1 お住まいの小学校区はどちらですか。(1つに○)

- |      |      |      |       |      |
|------|------|------|-------|------|
| 1 赤穂 | 2 城西 | 3 塩屋 | 4 赤穂西 | 5 尾崎 |
| 6 御崎 | 7 坂越 | 8 高雄 | 9 有年  | 10 原 |

※ここから先、すべての質問の「お子さん」とは、調査票を持ち帰ったお子さんのことです。

問2 調査票を受け取ったお子さんの生年月月をご記入ください。([ ]内に数字を記入)

平成 [ ] 年 [ ] 月生まれ

問3 お子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数をご記入ください。([ ]内に数字を記入)

きょうだい数 [ ] 人

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

- |      |      |           |
|------|------|-----------|
| 1 母親 | 2 父親 | 3 その他 ( ) |
|------|------|-----------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 配偶者がいる | 2 配偶者がいない |
|----------|-----------|

問6 お子さんの子育てや教育を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

- |         |           |        |
|---------|-----------|--------|
| 1 父母ともに | 2 主に母親    | 3 主に父親 |
| 4 主に祖父母 | 5 その他 ( ) |        |

問7 お子さんの子育てや教育に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまるすべてに○)

- |            |           |            |
|------------|-----------|------------|
| 1 父母ともに    | 2 母親      | 3 父親       |
| 4 祖父母      | 5 小学校     | 6 アフタースクール |
| 7 放課後子ども教室 | 8 その他 ( ) |            |

問8 お子さんの子育てや教育に、最も大きく影響すると思われる環境はどれですか。(あてはまるすべてに○)

- |            |            |           |
|------------|------------|-----------|
| 1 家庭       | 2 地域       | 3 小学校     |
| 4 アフタースクール | 5 放課後子ども教室 | 6 その他 ( ) |

問9 お子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる先はありますか。(1つに○)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 ある⇒問9-1へ | 2 ない⇒問9-2へ |
|------------|------------|



**問 11** 問 10 で「1」または「2」を選択した方にお伺いします。あなたは、子育てについてどのような不安や負担を感じることがありますか。(あてはまるすべてに○)

- 1 子育て(教育)にかかる経済的負担が大きい
- 2 仕事と子育ての両立が難しい
- 3 子どもの健康や発達に不安を感じる
- 4 地域医療体制への不安を感じる
- 5 保育サービスや施設が利用しにくい
- 6 安全な遊び場や児童館など、子どもの居場所が身近にない
- 7 相談相手や手助けしてくれる人がいない
- 8 安全な通学ができる歩道や防犯施設等の整備が進んでいない
- 9 子どもの教育やいじめなどが心配
- 10 子どもに関する犯罪や事故が増加していると感じる
- 11 身近に自然や伝統文化とふれあう機会がない
- 12 自分のための時間がもてない
- 13 その他( )
- 14 特にない

**問 12** 周囲の人(近隣、友人)に支えてもらって子育てをしているという実感がありますか。(1つに○)

- 1 大いにある      2 まあまあある      3 ほとんどない      4 全くない

**問 13** あなたは、子育てにおいて誰から支えられていると感じますか。(あてはまるすべてに○)

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1 配偶者・パートナー          | 2 祖父母等の親族           |
| 3 隣近所の人              | 4 友人・知人             |
| 5 職場の人               | 6 学校の保護者仲間          |
| 7 児童館、母親クラブ等の仲間      | 8 学校の先生             |
| 9 子育て応援隊             | 10 かかりつけの医師         |
| 11 専門カウンセリング(臨床心理士等) | 12 市役所の子育て相談窓口      |
| 13 子ども家庭センター(児童相談所)  | 14 民生委員・児童委員、主任児童委員 |
| 15 健康福祉事務所(保健所)      | 16 保健センター           |
| 17 電話相談              | 18 育児書・育児雑誌         |
| 19 インターネット           | 20 その他( )           |

## 小学校での放課後の過ごし方について

問 14 お子さんの放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方についてお伺いします。「(1) 現在放課後において過ごしている場所」と「(2) 今後の希望場所」を、下の【選択肢】欄から3つまで選び、週あたりの日数をお答えください。（□内に数字を記入）

**(1) 現在過ごしている場所**

場所 (番号を記入)	週当たりの日数 (数字を記入)
□	週 □ 日くらい
□	週 □ 日くらい
□	週 □ 日くらい

**(2) 今後の希望場所**

希望場所 (番号を記入)	週当たりの希望日数 (数字を記入)
□	週 □ 日くらい
□	週 □ 日くらい
□	週 □ 日くらい

【選択肢】

- 1 自宅
- 2 祖父母宅や友人・知人宅
- 3 習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）
- 4 児童館
- 5 放課後子ども教室<sup>※1</sup>
- 6 アフタースクール<sup>※2</sup> ⇒ (1) または (2) で選択した場合、問 14-1 へ
- 7 ファミリー・サポート・センター
- 8 その他（公民館、公園など）

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後に小学校で学習・スポーツ・遊びなどを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用でき、市内では赤穂西小、高雄小、有年小、原小で実施しています。

※2 「アフタースクール」…保護者が就労等により昼間家庭にいない場合など一定の条件を満たせば、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。市内では、赤穂小、城西小、塩屋小、赤穂西小、尾崎小、御崎小、坂越小、高雄小、有年小で実施しています。

問 14-1 問 14 で「6」を選択した方にお伺いします。お子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、アフタースクールの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（それぞれ1つに○。また利用したい時間帯を（ ）内に（例）8時～18時のように24時間制で記入）

(1) 土曜日	1 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯 （ 時）から（ 時） まで
(2) 日曜日 ・ 祝日	1 低学年（1～3年生）の間は利用したい 2 高学年（4～6年生）になっても利用したい 3 利用する必要はない	} ⇒	利用したい時間帯 （ 時）から（ 時） まで

問 14-2 問 14 で「6」を選択しなかった方にお伺いします。アフタースクールを利用していない理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

お子さんの身の回りの世話を主にしている方が

- 1 現在就労していないから
- 2 就労しているが、アフタースクールを知らなかったから
- 3 就労しているが、近くにアフタースクールがないから
- 4 就労しているが、アフタースクールの開所時間が短いから
- 5 就労しているが、アフタースクールは利用料がかかるから
- 6 就労しているが、子どもは放課後に習い事をしているから
- 7 就労しているが、放課後の短時間なら子どもだけでも大丈夫だと思うから
- 8 就労しているが、他に子どもの身の回りの世話をしてくれる人がいるから
- 9 就労しているが、他の施設に預けているから
- 10 就労しているが、アフタースクールに空きがないから
- 11 その他( )

## 小学校での長期休暇期間中の過ごし方について

問 15 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中のアフタースクールの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1つに○。また、利用したい時間帯を( )内に(例)8時~18時のように24時間制で記入)

- |   |     |  |
|---|-----|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1 低学年(1~3年生)の間は利用したい</li><li>2 高学年(4~6年生)になっても利用したい</li><li>3 利用する必要はない</li></ol> | } ⇒ | 利用したい時間帯<br>(            時)から(            時)まで |
|---|-----|--|



## 病気の際の対応について

**問 16** この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。(1つに○)

1 あった⇒問 16-1 へ

2 なかった⇒問 17 へ

**問 16-1** 問 16 で「1」を選択した方にお伺いします。その際、どのように対応しましたか。(あてはまるすべてに○。それぞれの日数も[ ]内に数字でご記入ください。半日対応の場合も1日とカウントしてください。)

1年間の対応	日数
1 父親が休んだ ⇒問 16-2 へ	[ ] 日
2 母親が休んだ ⇒問 16-2 へ	[ ] 日
3 親族(同居者を含む)・知人に子どもをみてもらった	[ ] 日
4 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	[ ] 日
5 ベビーシッターを利用した	[ ] 日
6 ファミリー・サポート・センターを利用した	[ ] 日
7 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	[ ] 日
8 その他( )	[ ] 日

**問 16-2** 問 16-1 で「1 父親が休んだ」「2 母親が休んだ」を選択した方にお伺いします。できれば「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われたことはありましたか。(1つに○。「1」を選択した場合は日数もご記入ください。)

1 できれば利用したかった ⇒ ( ) 日くらい

2 利用したいとは思わなかった ⇒問 16-3 へ

**問 16-3** 問 16-2 で「2」を選択した方にお伺いします。利用したいと思わなかった理由は何ですか。(あてはまるすべてに○)

1 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安

2 事業の質に不安がある

3 事業の利便性(利用時間・日数、場所など)がよくない

4 利用料がかかる・高い

5 利用料がわからない

6 親が仕事を休んで対応する

7 その他(具体的に: )



## 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 17 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（「(1) 預けた有・無」については、1つに○。「(2) 1年間の対処法」については、あてはまるすべてに○。また、対処法別の内訳の日数を [ ] 内に数字でご記入ください。）

※ 預け先がみつからなかった場合も含まれます。

(1) 預けた有・無	(2) 1年間の対処法	(3) 日数
1 あった ⇒ 合計 [ ] 泊	1 親族（同居者を含む）・知人にみてもらった ⇒問 17-1 へ	[ ] 泊
	2 子育て短期支援事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設で一定期間、子どもを保育する事業）	[ ] 泊
	3 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した	[ ] 泊
	4 仕方なく子どもを同行させた	[ ] 泊
	5 仕方なく子どもだけで留守番させた	[ ] 泊
	6 その他（ ）	[ ] 泊
2 なかった		

問 17-1 問 17 の「(2) 1年間の対処法」で「1 親族（同居者を含む）・知人にみてもらった」を選択した方にお伺いします。その場合の困難度はどの程度でしたか。（1つに○）

- 1 非常に困難                      2 どちらかという困難                      3 特に困難ではない



## お子さんの保護者の就労状況について

**問 18 宛名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従事者含む）について、①現在の状況と、②1年以内の見込み（実現見込みがある）をお答えください。（父親・母親それぞれ該当する番号に○。ひとり親家庭の方は、該当する部分のみお答えください。）**

※ 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

※ ②1年以内の見込みについて、現在と同様の就労状況が想定される場合は、同じ番号を選択してください。

質 問		父親・母親の就労状況・就労希望（それぞれについて1つに○）			
		1 フルタイム 【週5日・ 1日8時間程度】	2 パート・ アルバイト 【1日4時間以上】	3 パート・ アルバイト 【1日4時間未満】	4 専業主婦 (夫)又は就労 していない
①現在の 状況	(1)父親	1	2	3	4
	(2)母親	1	2	3	4
②1年以内 の見込み	(1)父親	1	2	3	4
	(2)母親	1	2	3	4

**問 18-1 問 18 の①で「1」～「3」を選択した方にお伺いします。家を出る時間と帰宅時間を [ ] 内に数字でご記入ください。**

※ 一定でない場合は、もっとも多い就労パターンについてご記入ください。

※ 時間帯は 24 時間制でご記入ください。

(1)父親	家を出る時間：[ ] 時 [ ] 分	帰宅時間：[ ] 時 [ ] 分
(2)母親	家を出る時間：[ ] 時 [ ] 分	帰宅時間：[ ] 時 [ ] 分

**問 18-2 問 18 の②で「4」を選択した方にお伺いします。1年よりも先、将来的な就労予定はありますか。（1つに○。[ ] 内に数字をご記入ください。）**

(1)父親	1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2 1年より先、一番下の子が [ ] ヶ月もしくは [ ] 歳になったときに就労したい 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
	希望する就労形態 ① フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の労働） ② パートタイム、アルバイト等（「①」以外） ⇒1週間あたり [ ] 日、1日あたり [ ] 時間
(2)母親	1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） 2 1年より先、一番下の子が [ ] ヶ月もしくは [ ] 歳になったときに就労したい 3 すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい
	希望する就労形態 ① フルタイム（1週5日程度、1日8時間程度の労働） ② パートタイム、アルバイト等（「①」以外） ⇒1週間あたり [ ] 日、1日あたり [ ] 時間

## 育児と就労の両立について

**問 19** お子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。  
 (それぞれ1つに○。ひとり親家庭の方は、該当する部分のみお答えください。)

(1) 父親	(2) 母親
1 働いていなかった⇒問 20 へ	1 働いていなかった⇒問 20 へ
2 取得した(取得中である)⇒問 19-1 へ	2 取得した(取得中である)⇒問 19-1 へ
3 取得していない⇒理由を選択し、問 20 へ	3 取得していない⇒理由を選択し、問 20 へ
<b>取得していない理由</b> (下から番号を選び、ご記入ください)	<b>取得していない理由</b> (下から番号を選び、ご記入ください)
→	→

- 1 育児休業を取りにくい職場の雰囲気があった
- 2 仕事が忙しかった
- 3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
- 4 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7 保育所などに預けることができた
- 8 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9 配偶者が無職、祖父母などの親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10 育児休業制度を知らなかった
- 11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 12 有期雇用(アルバイト・パートを含む)のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 13 その他(具体的に )

**問 19-1** 問 19 で「2」を選択した方にお伺いします。育児休業取得後、職場に復帰しましたか。(それぞれ1つに○。ひとり親家庭の方は、該当する部分のみお答えください。)

(1) 父親	(2) 母親
1 育児休業取得後、職場に復帰した⇒問 19-2~5 へ	1 育児休業取得後、職場に復帰した⇒問 19-2~5 へ
2 現在も育児休業中である⇒問 20 へ	2 現在も育児休業中である⇒問 20 へ
3 育児休業中に離職した⇒問 20 へ	3 育児休業中に離職した⇒問 20 へ

**問 19-2** 問 19-1 で「1」を選択した方にお伺いします。育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所にあわせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

(1つに○) ※ 年度初めを希望して復帰したが、入所できなかった場合も「1」を選択してください。

(1) 父親	(2) 母親
1 年度初めの入所にあわせたタイミングだった	1 年度初めの入所にあわせたタイミングだった
2 それ以外だった	2 それ以外だった

問 19-3 問 19-1で「1」を選択した方にお伺いします。育児休業からは、「実際に」お子さんが何歳何ヶ月の時に職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。（〔 〕内に数字を記入）

(1)父親	実際の取得期間	[ ] 歳 [ ] ヶ月	希望	[ ] 歳 [ ] ヶ月
(2)母親	実際の取得期間	[ ] 歳 [ ] ヶ月	希望	[ ] 歳 [ ] ヶ月

問 19-4 問 19-1で「1」を選択した方にお伺いします。お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。〔 〕の中に数字をご記入ください。（ひとり親家庭の方は、該当する部分のみお答えください。）

(1) 父親	(2) 母親
[ ]歳[ ]ヶ月	[ ]歳[ ]ヶ月

問 19-5 問 19-3で実際の復帰と希望が異なる方にお伺いします。希望の時期に職場復帰しなかった理由を教えてください。（AまたはBのいずれかを選択した上で、選択肢よりあてはまる番号をすべて回答欄にご記入ください。）

(1) 父親	(2) 母親
A・B	A・B

【選択肢】

A 希望より早く復帰した方	B 希望より遅く復帰した方
1 希望する保育所に入るため	1 希望する保育所に入れなかったため
2 配偶者や家族の希望があったため	2 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3 経済的な理由で早く復帰する必要があったため	3 配偶者や家族の希望があったため
4 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5 その他（ ）	5 子どもをみてくれる人がいなかったため
	6 その他（ ）

問 20 子どもと一緒に過ごす時間や親の介護、自己実現のための時間が十分に取れている（仕事と生活の調和がはかられている）と思いますか。（それぞれ1つに○。ひとり親家庭の方は、該当する部分のみお答えください。）

(1) 父親	(2) 母親
1 はかられている 2 はかされていない	1 はかられている 2 はかされていない



## お子さんの安全について

問 21 子どもの健全育成や非行防止のために、どのようなことに力をいれるべきだと思いますか。(○は3つまで)

- 1 家庭でのしつけやこころの教育を充実する
- 2 学校での生徒指導や教育を強化する
- 3 学校や地域、行政、警察などが連携し、指導体制を充実する
- 4 青少年が高齢者や大人など、地域の人びととふれあう機会をふやす
- 5 青少年に及ぼす影響の大きい雑誌やビデオなどの販売、ちらし等を排除する
- 6 万引きなどを防止するための管理体制を強化する
- 7 青少年の非行防止・健全育成のための相談体制を強化する
- 8 今のままでもよい
- 9 その他 ( )

問 22 子どもの安全を守るために、特に重要と思われることは次のうちどれですか。(○は3つまで)

- 1 地域の交通安全活動の充実・強化
- 2 歩行者や自転車のための交通安全施設（ガードレール・歩道）の整備
- 3 地域ぐるみのパトロールなど子どもを犯罪から守るための取り組み
- 4 公園遊具の安全性の確保
- 5 不審者の進入防止など、学校の安全対策
- 6 通学路や子どもの遊び場の安全対策
- 7 犯罪にあいそうになった時の対応についての教育
- 8 その他 ( )

## 赤穂市での子育てについて

問 23 下記の分野のうち、行政の取り組みに対してどのように感じていますか。取り組みは多岐に渡りますが、全体的な満足度をお答えください。(①～⑳、それぞれ1つに○)

	大変満足	満足	普通	やや不満	不満	わからない
①幼稚園、保育所の充実	1	2	3	4	5	6
②子育て学習センターや児童館など子育て支援施設の充実	1	2	3	4	5	6
③アフタースクールの実施	1	2	3	4	5	6
④ファミリー・サポート・センター事業、一時預かり事業の実施	1	2	3	4	5	6
⑤病児・病後児保育事業の実施	1	2	3	4	5	6
⑥幼稚園における預かり保育事業の充実	1	2	3	4	5	6
⑦子育て支援に関する情報提供の強化	1	2	3	4	5	6
⑧仕事と子育ての両立の推進	1	2	3	4	5	6
⑨子育て相談事業の充実	1	2	3	4	5	6
⑩子どもの安全を守る生活環境の整備	1	2	3	4	5	6
⑪子育て世帯の経済的負担の軽減	1	2	3	4	5	6
⑫障がいがある子どもの早期発見・早期支援	1	2	3	4	5	6
⑬ひとり親世帯への経済的負担の軽減	1	2	3	4	5	6
⑭妊産婦・新生児訪問指導の充実	1	2	3	4	5	6
⑮保健センターの充実	1	2	3	4	5	6
⑯小児医療体制の充実	1	2	3	4	5	6
⑰特色ある学校づくりの推進	1	2	3	4	5	6
⑱豊かな心と健康なからだの育成をめざした教育の推進	1	2	3	4	5	6
⑲虐待の予防と早期発見への取り組みの強化	1	2	3	4	5	6
⑳児童・青少年の健全育成のための環境整備	1	2	3	4	5	6

問 24 赤穂市は、子育てしやすい環境にあると思いますか。(1つに○)

- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない  
4 そう思わない      5 わからない

**問 25 将来、お子さんにどのような人に育ってほしいと思いますか。(○は3つまで)**

- 1 ふるさとや日本の自然や文化、伝統を愛し、大切にする人
- 2 逆境に負けない忍耐力と自立心を身につけた人
- 3 公共心や社会常識、マナーを身につけた人
- 4 専門的な知識や技能を身につけた人
- 5 人の意見に耳を傾け、柔軟に受け入れられる人
- 6 自分の意見を持ち、リーダーシップや行動力がある人
- 7 その他 ( )

**問 26 あなたは、これからもお子さんに赤穂市で育ってほしいと思いますか。(1つに○。また、その理由もご記入ください。)**

- 1 そう思う      2 どちらかというと思う      3 どちらかというと思わない
- 4 そう思わない      5 わからない
- ⇒その理由 ( )

**問 27 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。**

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
2月6日(水)までに小学校へご提出ください。